

監督者（3年目）研修 「関係者を幸せにするためのマトリクス」班作業まとめ 2018.11.26

関係者1(受注者の現場代理人、主任技術者、技能者、作業員とその家族)の幸せのために持つべき意識とするべき行為

	自分だけで、できること	上司など周囲の理解や協力があればできること
もつべき意識	<p>第Ⅰ領域</p> <p>1班 ・受注者の方とは常に対等な関係であり、それ以上であるという意識を持つ。 ・時間を大切にす。</p> <p>2班 ・自分達ができない施工技術を持っているということを意識し、常に尊敬する。 ・相手(受注者)の立場にたつて何事も考える。</p> <p>3班 ・資料修正はまとめ行う。 ・遅い時間の連絡は避ける。</p> <p>4班 ・現場立会、時期、日程の調整をする上で、業者の都合を尊重。 ・事業の効果、目的を把握する。→業者に説明することでやりがいを持つ。</p> <p>5班 ・時間厳守 ・友好的かつ対等な関係</p> <p>6班 ・常に対等を意識し誠意を持って対応する。 ・また、相手のプライベートも考える。</p>	<p>第Ⅲ領域</p> <p>1班 ・必要な現場立会時期、日程について工事進捗・業者都合を最大限に尊重する。</p> <p>2班 ・こちら側の指示内容に変更がないように気を配る。</p> <p>3班 ・ゆとりのある工期設定をする。(常識の範囲で)</p> <p>4班 ・現状の計画よりもより良い物をつくるために利用者の立場から見て、計画にはないがあった方がいい施設はないか常に考える。</p> <p>5班 ・業者を待たせないようにする。尊重する。→立会いなど、現場を優先するという意識。</p> <p>6班 ・上司の予定も考慮し余裕を持って予定を組む意識。 ・事務所確認等がスムーズに進行するよう協力する。</p>
やるべき行為	<p>第Ⅱ領域</p> <p>1班 ・言葉遣いを丁寧にす。 ・真摯に対応する。 ・急な仕事を依頼しない。 ・業務時間外に電話をしない。</p> <p>2班 ・正しい知識に基づき、適切で迅速な監督指導を行う。 ・尊敬して、礼儀正しく接する。あいさつする。 ・すかさずほめる、お礼を言う。 ・気持ちよく働いてもらえるように声かけ。</p> <p>3班 ・要点を完結に伝える。(電話で時間を取りすぎない。) ・時間を守る。・極力現場に行つて話をす。</p> <p>4班 ・工事の進捗を確認し、日程調整。 ・現場状況が変わつた時に、現場へ行き、変更内容を確認する。 ・技術をたくわえる(資格の取得)→現場での不備に気づくことができる →工事のやり直し等が無くなる。</p> <p>5班 ・余裕を持つ。余裕をもって行動する。←時間を守るために。 ・知識をつける。←友好的・対等な関係のために身につけなければならない。</p> <p>6班 ・時間外の連絡はさける。 ・正しい積算をす。 ・あいさつをす。 ・正しい工期設定。</p>	<p>第Ⅳ領域</p> <p>1班 ・決裁を早く回す。 ・発注者の都合で遅れが発生しないようにす。</p> <p>2班 ・発注者側の都合で、遅れることがない・迷惑をかけない⇒上司、周囲とのハウレンソウを常に心掛ける。 ・余裕のある工期・設計変更</p> <p>3班 ・余裕のある工期の設定。 ・設計額の適切な積算。 ・適切な設計変更。 ・幅広い受注機会の確保。</p> <p>4班 ・業者から現場条件の変更があつた際に全て断るのではなく現場を確認し、上司と相談をして増額変更もしっかりする。</p> <p>5班 ・現場で話をす。 ・相談の体制づくり。</p> <p>6班 ・自分が解決できない。場合は、上司に相談し意見をもらい工事を円滑にすすめる。 ・工事の後戻りがないよう、上司に協力してもらいながら地元説明会などを行う。</p>

補足者コメント

1班:受注者を尊重することと言いなりになるのは違う。監督者もしっかり調べて対応することが必要。

2班:相手に迷惑をかけないための気遣いが必要。

3班:会社というよりは現場代理人個人を尊重。「時間」を大切にすることが大事。相手とその家族のことを考える。

4班:自分がまず理解し、それを相手に示すことが大切。さらによいモノをつくるための増工まで考える。それをしっかりと上司に説明できるようにする。

5班:体制づくりが大事。情報を監督職員、受注者、上司と共有し「誤解」をなくす。

6班:手直しや工法の変更は受注者の負担増につながる。事前協議をしっかり行う。

ふりかえり(班長コメント)

1班:対等の関係であることを意識する。

2班:円滑な施工のためには相手を尊重し、良好な関係を築くことが必要。自分自身が周辺との情報共有を図る。

3班:対等であること。自己研さんに努めることが大切。

4班:下準備が大切。

5班:常に対等な立場であることを意識。時間に余裕をもち、ロスをなくす。相談体制をしっかり築き、やり直しをなくす。

6班:発注者中心でなく、全体の奉仕者としての意識を持つ。

各班班員

1班:伊藤 恭平(福井土木)・高島 成仁(丹南土木)・光友 達也(小浜土木)・岩田 昂準(福井市)・北川 博喜(福井市)

2班:川口 大輔(福井土木)・宮崎 美帆(丹南土木)・吉田 翔太(小浜土木)・池邑 尚毅(福井市)・田邊 佑真(福井市)

3班:島田 瑛実香(福井土木)・森下 和晃(鯖丹土木)・藤井 亮輔(河内川ダム)・前川 直輝(福井市)・畑中 章平(大野市)

4班:岩佐 将之(三国土木)・島田 健太郎(敦賀土木)・高橋 青波(敦賀港湾)・池田 啓之(敦賀市)

5班:太刀内 紘平(奥越土木)・山口 淳子(敦賀土木)・神尾 仁智(福井市)・兼定 健博(丹南農林)

6班:藪内 悠貴(奥越土木)・窪田 京介(小浜土木)・武田 大輝(嶺南農村)・矢部 将生(福井市)